

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）
（分担）研究報告書

線維筋痛症を含む慢性疼痛難治例における自尊心と中枢神経感作関連症状の関連

研究分担者 細井 昌子

九州大学病院 心療内科 講師 / 同病院 集学的痛みセンター 副センター長

研究要旨

痛みの中枢性感作には慢性ストレスの関与が示唆されている。しかし、ストレスを生み出しやすい人格特性と中枢性感作とが関連しているかという検討はほとんどされていない。本研究では、難治性慢性疼痛患者群において、生涯を通じてストレスの生じやすさと関連する人格特性である自尊心の程度と中枢性感作に伴う症状の程度との関連を検討した。その結果、難治性慢性疼痛患者群において、自尊心の低さは中枢性感作に伴う症状の多さと関連していた。

難治性慢性疼痛患者の中枢性感作の評価、治療には自尊心の程度を考慮することの重要性が示唆された。

研究協力者

安野広三 1、2)

田中 佑・村上匡史・足立友理 1)

富岡光直 1,3)

須藤信行 1,2,3)

1) 九州大学病院 心療内科

2) 九州大学病院 集学的痛みセンター

3) 九州大学大学院医学研究院 心身医学

C. 研究結果

全体の平均スコアは CSI-A 41.9 (SD 20.3)、RSES 22.7 (SD 5.1)であった。CSI-A と RSES の相関係数は-0.50 ($P < 0.0001$)と有意な負の相関を認めた。CSI-A を目的変数、RSES を目的変数、年齢、性別、HADS-D、PCS を調整変数とした重回帰分析においても RSES は CSI と負の関連を認めた ($\beta = -0.17$, $P < 0.05$)。

A. 研究目的

痛みの中枢性感作の形成には慢性ストレスとの関与が示唆されている。幼少期の不適切な生育環境の中で形成され、生涯にわたりストレスを生み出すことにつながりやすい心理特性が中枢性感作と関連している可能性がある。その一つとして自尊心の低さが考えられるが、中枢性感作症状との関連については検討されていないため、今回検討した。

B. 研究方法

対象は九州大学病院心療内科を初診した線維筋痛症を含む慢性疼痛患者（罹病期間3か月以上）120名（平均年齢：50.4±17.0歳、女性：67.5%）。初診時に中枢性感作に伴う症状の多さ：Central Sensitization Inventory (CSI-A)、自尊心の高さ：Rosenberg Self-Esteem Scale (RSES)を評価した。中枢性感作を目的変数、自尊心を説明変数として重回帰分析を行った。

（倫理面への配慮）

対象者には研究の説明を文書で行い、文書で同意を得た。

D. 考察

幼少期の不適切な被養育体験やその後の否定的な体験の中で自尊心の健全な発達が阻害されると、その後の対人関係やその他の生活上の問題への対処能力に否定的な影響を及ぼす。その結果、低い自尊心は人生を通じて慢性的なストレスを抱えることにつながりやすく、そのことが中枢性感作の形成に関与している可能性が考えられる。

E. 結論

心療内科を受診する難治性慢性疼痛群では中枢性感作症状の多さと自尊心の低さが有意に関連していた。中枢性感作の評価、治療には自尊心に対する評価やその改善のための介入が重要である可能性がある。

F. 健康危険情報

総括研究報告書にまとめて記載。

G. 研究発表

1. 論文発表

1) 細井昌子・慢性疼痛とアサーション—自尊心の回復と失感情症への対応の重要性

- 一・精神療法46(3), 336-341, 2020
- 2) 細井昌子・慢性疼痛における心理社会的因子と気象関連痛：自律神経機能低下をきたす愛着・認知・情報・行動障害の悪循環・ペインクリニック41(6), 759-766, 2020
- 3) Shibata, M, Ninomiya, T, Anno, K, Kawata, H, Iwaki, R, Sawamoto, R, Kubo, C, Kiyohara, Y, Sudo, N, Hosoi, M. Parenting style during childhood is associated with the development of chronic pain and a patient's need for psychosomatic treatment in adulthood: A case-control study. *Medicine (Baltimore)*. 2020 Jul 17;99(29):e21230. doi: 10.1097/MD.00000000000021230.
- 4) 細井昌子, 安野広三・高齢者の慢性疼痛—昭和世代の心理社会的特徴を読み解く— *Prog. Med*, 40(8)811-815, 2020
2. 学会発表
- 1) Masako Hosoi, Fibromyalgia and microglial TNF- α : Translational research using human blood induced microglia-like cells. Large-Scale Research Consortium in Pain Session, IASP Virtual Series on Pain & Expo (Innovation Research and Education), WEB, Nov 5, 2020
- 2) 齊藤貴文, 柴田舞欧, 平林直樹, 森崎悠紀子, 安野広三, 須藤信行, 二宮利治, 細井昌子・地域一般住民における家族機能と慢性疼痛の関連：久山町研究・第13回日本運動器疼痛学会(学会), WEB, 2020.11.28-12.25
- 3) 柴田舞欧, 二宮利治, 齊藤貴文, 平林直樹, 森崎悠紀子, 安野広三, 須藤信行, 細井昌子・地域一般住民における慢性疼痛の定義と有症率の関連：久山町研究・第13回日本運動器疼痛学会(学会), WEB, 2020.11.28-12.25
- 4) 細井昌子, 安野広三・いきいきリハビリノート：心身医学的観点からの使用方法・第13回日本運動器疼痛学会(学会), WEB, 2020.11.28-12.25
- 5) 細井昌子・慢性疼痛における社会的敗北ストレスと愛着障害：難治例から心の問題を考える・第42回日本疼痛学会(学会), WEB, 2020.12.4
- 6) 細井昌子, 茂貫尚子, 稲吉真美子, 井上綾子・慢性疼痛と女性統合医療：予防としての安全基地の重要性・第24回日本統合医療学会, WEB, 2020.12.12
- 7) 伊津野巧, 細井昌子, 安野広三, 足立友理, 富岡光直, 茂貫尚子, 稲吉真美子, 田中佑, 須藤信行・線維筋痛症難治例に対してマインドフルネスを有効化するための工夫：支持の重要性・第60回日本心身医学会九州地方会(WEB), 2021.1.31
- 8) 村上匡史, 細井昌子, 安野広三, 田中佑, 足立友理, 茂貫尚子, 稲吉真美子, 須藤信行・

- 家庭での安心感の不足に対して家族への介入が有用であった慢性疼痛(両手指)の一例・第60回日本心身医学会九州地方会(WEB), 2021.1.31
- 9) 田中佑, 安野広三, 細井昌子, 村上匡史, 柴田舞欧, 須藤信行・慢性疼痛患者における完璧主義特性と中枢性感作との関連・第60回日本心身医学会九州地方会(WEB), 2021.1.31
- 10) 永江悠子, 細井昌子, 富岡光直, 須藤信行・描画を用いた日記が治療に有効であった線維筋痛症の一例・第60回日本心身医学会九州地方会(WEB), 2021.1.31
- 11) 村上匡史, 安野広三, 田中佑, 足立友理, 茂貫尚子, 稲吉真美子, 須藤信行, 細井昌子・過剰適応傾向が強い慢性疼痛(両手指)患者に対して段階的心身医学的治療が有効であった一例・第50回日本慢性疼痛学会WEB, 2021.3.19-20(オンデマンド, 2021.4.1-4.30)
- 12) 齊藤貴文, 柴田舞欧, 安野広三, 須藤信行, 細井昌子・地域一般住民において家族機能は慢性疼痛の有症率および重症度に関連する：久山町研究・第50回日本慢性疼痛学会WEB, 2021.3.19-20(オンデマンド, 2021.4.1-4.30)
- 13) 細井昌子, 田中佑, 安野広三, 村上匡史, 柴田舞欧, 須藤信行・完璧主義特性と中枢性感作関連症状との関連：慢性疼痛難治例における検討・第50回日本慢性疼痛学会WEB, 2021.3.19-20(オンデマンド, 2021.4.1-4.30)
- 14) 安野広三, 村上匡史, 田中佑, 細井昌子・難治性慢性疼痛患者に対する心理的アプローチ～一般身体科から心理アプローチを進めるときの患者側の抵抗感に対処するコツ(テクニック)～心療内科受診初期における対応の難しさ(ワークショップ6)・第50回日本慢性疼痛学会WEB, 2021.3.19-20(オンデマンド, 2021.4.1-4.30)
- 15) 坂本英治, 津田緩子, 安野広三, 前田愛子, 藤田曜生, 岡澤和哉, 永富祐太, 須藤信行, 細井昌子・家族との葛藤が影響していた口腔顔面痛に対して歯科と心療内科の連携が奏功した一例・第50回日本慢性疼痛学会WEB, 2021.3.19-20(オンデマンド, 2021.4.1-4.30)

H.知的財産権の出願・登録状況(予定を含む。)

1. 特許取得
該当なし
2. 実用新案登録
該当なし
3. その他
該当なし